

肉眼に見ゆる星の話 (二)

伏見 吉田源治郎

春の星座 (續き)

コルサス
鳥とコップ座

乙女と獅子の兩星座の下方に、二つの、餘り目立たない星座があります。それが「鳥座」と「コップ座」です。

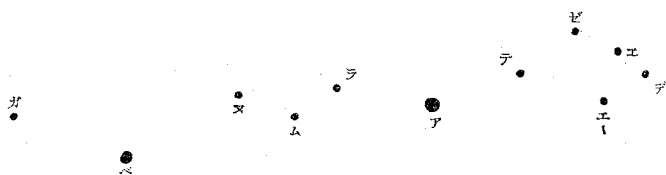
鳥星座は、その主だつた四つの星が、不等四邊形をつくつてゐますから、それで見分けがつかます。即ち、北東隅のデ星と、北西隅のガ星と、南西隅の

エ星と南東隅のベ星とがそれです。此四星はいづれも三等星です。デ星の近くに五等星のエー星が見えエ星の下部に四等星のア星が見えます。

コップ座は、鳥座よりも一層、見分けにくい星座です。三等星のデ星と、四等星のガ星と、同じく四等星のア星が、三角形を形づくつてゐるのが目につきます。

ヒドラ
海蛇と蟹星座

上記の鳥とコップ座の南及び西に低く長々と、のた打ちまはつて位するのは天界第一



座星蛇海

の長尺物?のヒドラ星座です、一寸初心の者にとつて見分けがつけにくい。此星座の最輝星は、アラビヤ名で、アルフワアードと呼ばれてゐる。アルフワヒドレエ即ち、ア星です、アラビヤ名の意味は「獨りぼつち」と云ふことです。此名は此界隈の星の分布の稀薄なことを示してゐます。

アルフワアードは、二等星の赤色星です。それで古代の支那の天文学者は此星を「赤鳥」と名付けました。海蛇は、西は蟹座から東は天秤座にかけて、のしやばつてゐます。此有名な然し餘り輝星に富んでゐないヒドラ座を見出すには此星座中の最北部の星の群から始めるといい。即ち、此邊の星は、ア星の右上部にあたつて、海蛇の頭部を形づくつてゐます。

頭部をつくつてゐるのは、エー、デ、エ、ゼ、テの五星です。此等の星の真上で、雙子と獅子座との間にある星座は、蟹座です。見立

たぬ星ばかりですが、此處は黃道の第四宿にあたつてゐますが、ガデ、ゼ、ムの四星が、四邊形を形づくつてゐます。そして、四邊形の最低部の二星——デ星とム星とは——は、ア星ベ星と共に、不等四邊形をしてゐます。

此星座中、著名な事は、四等星のガ星とデ星との間に、霧狀の雲のやうに肉眼にも見ゆる星群であります。それは「蜂の巢」と呼ばれてゐます。プライアデス(すばる星群)を除いては、此星群は、天界で最目ざましい星群であります。此星群は、古代の天文學者によつて早くも發見されて——勿論、望遠鏡のない時代ですから其箇々の星を見分ける事は出来ませんでした——が——「星雲」^{ネビュラ}として分類されました。これが天體にかゝる名稱の付けられた最初でありました。双眼鏡で覗いても、(すばる迄は行きませんが)中々壯觀です。

鬚と獵犬星座

春の星座の主要なものは以上で盡きますが、今二つを挙げる事が出来ます。その一つは、髮星座です、位置は、乙女座の上方で、獅子座の左側にあたります。

髮座もつと詳しく云へばコオマ・ペレニセスと申します。此星座は随分古代から知られてゐました。

此名稱の意味は「ペレニスの髪」といふ事です。ペレニスといふのは埃及の女王の名です、これには一つのやさしいローマンスがあるのです、まあお聞き下さい、其話は慍うです、此女王がある時、「私の夫が戦場から無事に歸りますやうに」と、神々に向つて彼女の髪を懸けて誓願しました、やがて夫が無事凱旋しても、女王の髪は、神殿に納められましたが、其うち、いつの間にか、其髪毛が盜難に罹りました。それで、其時の、お抱への天文學者は、次の様な判斷を下しました。その髪毛は、天界へ移されたのだそれあそこにくら／＼と輝いてゐる星の一群こそ、正に女王の髪毛ですぞと云つて、此星座を指さしたこの事です。

髮座には、餘り輝星もありませんが、双眼鏡で覗けば、數箇の星を見出すことが出来ます。

獅子と乙女座との上方で、北斗七星の下手にあるのが、獵犬星座です。

此星座は、春が一番いゝ觀望期です、北斗七星さへ覺えてゐれば獵犬座のア星は、すぐ見付けられます。なせかと云へば、この星は、北斗(犁)の把手の最端のエ星(大態星座)に次ぐ輝星ですから。

又、此獵犬座ア星は、コル・カロリと云ふふざけた名で知られてゐます、其意味は「チャルスの心臓」と云ふ事です、その由緒は恠うなのです。

チャルス二世が、王政復古に、始めてのロンドン入市をする前の夕方、特別の素破らしい輝きを此星がしたと——さう王黨は信じてゐた——いふので前記の名が付けられたのださうです。

肉眼では此星の外は見えません。望遠鏡での観測者にとつては、此獵犬座に渦狀星雲があるので、著名です。

× × ×

其他、牧夫星座や、北冠星座を、春の星の中へ入れる人が無いでもありませんが、これらは寧ろ、夏の部へ入れるのが、正當だと思ひます。

總じて、春空は、——冬天に比べて——頗る貧弱な光の星しかありません。冬天では、七つの一等星が見えます——即ち、シリウス・ベテルギウス、リデル、プロシオン、アルデバラン、カペラ、ボラツクスの——其上に、多數の二等星が見えます。が、春の天界では、レグルスとスピイカが、一等星であ

るだけです。尙、春天では、他の季と比べて、輝星が少ないと云ふばかりではありません。他の低級の星も非常に少ないのです。これには、理由があります。

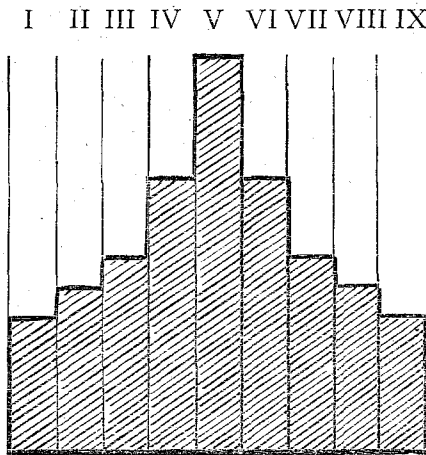
天の河の問題

それに就いては、天の河の正體を知る必要があります、元來天の河は、この「天といふ建物の土臺なのです」即ち、此の宇宙の基礎計畫なのです、その箇々の星は肉眼では見かけられませんが、霧狀の帯に見えます、が實は、天の河自身は、幾億の星の團集なのです、單にそこには、微光星が、多數に集つてゐると云ふのみではなく、輝星も又尤も多く配置されてゐる部分なのです、ゴアと云ふ人は、二等星以上の輝星三十二の中、其十二は、天の河の中にあるが、それに連結してゐる微かな星雲中に浸つてゐることを發見しました。又、三等星以上の輝星九十九中三十三は天の河にあると報告してゐます。

ニュートンの星の密度表（ハーシエルの計算に基づく）によると、次のやうに、「天の河」の「帯」に近づく程、星の密度が、急速に、増加する状態がわかります。

即ち、[1]は天の河の北極[2]は天の河の南極を示し、[5]は、其「川筋」或は「帯」を示すのであるが、其星の實數、並びに密度の増減は次の如くである。

星の密度



區域	星	數	密度
9		一〇六四四	三〇一四
8		六〇三七五	三〇二一
7		一一七九〇	三〇七一
6		三〇五八〇	六〇〇七
5		三三〇六七	六〇一七
4		二四〇四九	五〇三三
3		一九〇四八	三〇五四
2		一〇〇一八五	三〇〇三
1		四〇二七七	二〇七六

此表に依つても明らかなる如く、天の河に近づく程星數が増し、且、輝星が増加する勘定です。

夏、秋、冬を通じて、私達は、天の河を見ることが出来ますが、春季には天の河の極地方乃至其周圍しか、私達には見えない工合になつてゐます。そんなわけで、獅子、乙女、海蛇の附近は、星の密度の最も稀薄な部分に當つてゐるのです。これが、春天に比較的星の寡少な理由であります。

私は引續いて各時季に見ゆる星の話を書くであります。

（つゞく）